

2023年度

本学薬学部生命創薬科学科卒業生向け
薬剤師国家試験受験資格取得に関わる
科目等履修生募集要項



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

目次

I 募集要項

1	出願資格	1
2	出願手続	1
3	選考基準・結果	2
4	履修手続	3
5	出願に際しての注意事項	3

薬学部4年制学科（生命創薬科学科）の学生については、**2017**年度までの入学者に限り、一定の条件を満たし、6年制学科（薬学科）の卒業生と同等であると厚生労働大臣が個別に認める場合にのみ、薬剤師国家試験を受験することが出来るとされています。

なお、本学で科目等履修生として薬剤師国家試験受験資格を取得するために必要な要件は下記の通りです。

- 1) 本学薬学部生命創薬科学科を卒業する。
- 2) 薬学部基礎をおく大学院を修了する（博士前期課程（修士課程）、博士後期課程もしくは博士課程の修了要件を充足する。なお、飛び級による修了は認められない）。
- 3) 以上の要件を充足しつつ、生命創薬科学科入学後 12 年以内に自身の入学年度の薬学科の卒業要件を充足する。
※各授業科目区分（基幹基礎科目等）に対する薬学科の卒業所要単位を全て修得することを含む。

参考：厚生労働省 HP

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iyakuhin/yakuzaishi-kokkashiken/4nensei.html

I 募集要項

1 出願資格

下記の2点のいずれも満たす者。

- ① 本学薬学部生命創薬科学科（4年制課程）を卒業した者
- ② 本学もしくは薬学部に基礎をおく大学院博士前期課程（修士課程）、博士後期課程もしくは博士課程のいずれかを修了した者もしくは2022年度に修了見込みの者

2 出願手続

(1) 出願書類

- ① 科目等履修生願書（写真貼付、縦4cm×横3cm 脱帽、上半身正面、出願日前3ヶ月以内に撮影のもの）
- ② 出身学校卒業証明書ならびに修了証明書
※修了証明書の提出が出願期間に間に合わない修了見込みの者については、修了見込証明書を提出の上、発行され次第修了証明書を提出すること。
- ③ 薬剤師国家試験受験に必要な科目の取得状況の分かる書類（成績証明書等）
- ④ 薬剤師国家試験受験に必要な科目の単位取得状況表
※本学薬学部生命創薬科学科在学時のカリキュラム適用年度に対応した表を提出すること。
- ⑤ 科目等履修生審査料納入書類等貼付台紙
- ⑥ 選考結果通知用封筒（大きさは定型外封筒（角2サイズ）宛名記入、400円分の切手（速達料金260円+定形外郵便物料金140円）貼付）
- ⑦ 修士論文の写し

※過年度からの継続申請の場合は、②、⑦については改めて提出する必要はありません。

出願書類に記入された個人情報は、「①選考実施（出願処理・選考）」、「②選考結果の通知」、「③入学手続」とこれらに付随する事項を行うために利用するものであり、それ以外の目的に使用することはありません。

(2) 出願期間

2023年2月24日（金）～3月3日（金）

受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜及び12:00～14:00は除きます）

出願対象科目：通年科目、前期科目、後期科目、集中科目、実習科目

注意事項：後期科目のみ履修する場合も必ず上記の期間に出願してください。

＜追加申請手続き＞

- ・後期科目の追加申請手続き期間は、2023年8月23日（水）～8月29日（火）（土曜、日曜は除きます）です。ただし、前期出願期間中に所定の手続きが必要な実習科目（「薬用植物学実習」「医薬資源学実習」「薬剤学実習」「薬理学実習」「医療薬学実習」）は2023年2月24日（金）～3月3日（金）（土曜、日曜は除きます）の出願期間のみ受け付けます。
- ・「追加申請書」に必要事項を記入し、科目等履修生証及び選考結果通知用封筒（大きさは定型封筒（長形3号）宛名記入、354円分の切手（速達料金260円+定形郵便物料金94円）貼付）を添えて提出します。
- ・追加申請には、審査料は必要ありません。

(3) 出願方法

①審査料の納入

審査料 35,000 円を出願期間内に、金融機関の ATM から下記の口座に納入し、振込明細書等の原本（コピー不可）を「科目等履修生審査料納入書類等貼付台紙」に貼付してください。

※一度納入した審査料は、理由の如何を問わず返還されません。

※振込手数料については振込人（出願者）負担となります。

※原本の提出が難しい場合は、学部事務課窓口にご相談ください。

審査料の 振込先	銀行名：みずほ銀行 支店名：飯田橋支店 預金種目：普通預金 口座番号：1000200 口座名義：東京理科大学（トウキョウリカダイガク）
-------------	---

②出願書類提出場所（郵送による出願は認めません）

薬学事務課（野田キャンパス 15 号館 2 階）

3 選考基準・結果

本学学生の学修に支障がないと認めた場合に限り、選考のうえ科目等履修生として履修を許可することがあります。科目等履修生の履修期間は1年以内とします。従って、1年を超えて継続して履修を希望する場合には、年度ごとに再出願する必要があります。

選考は提出書類等により行います。

選考結果は、3月下旬頃までに、本人宛文書にて通知します。また、その際ガイダンス、健康診断、抗体検査、薬学共用試験に関する案内を同封する予定ですので、対象者はよく確認してください。

4 履修手続

選考に合格したものは、合格通知により指定された期日までに、履修料を納入（銀行振込）の上、履修手続を行ってください。**分納は認めません。**

履修料は1単位につき、26,000円です。

実験実習費は1単位につき、24,000円です。※注

※注：「薬用植物学実習」「医薬資源学実習」「薬理学実習」「薬剤学実習」「衛生薬学実習」「医療薬学実習」が対象です。

これらの科目は履修料と実験実習費の両方の納入が必要となります。履修手続の際には履修料を納入し、後日、請求に基づき実験実習費を納入ください。実務薬学実習（「薬局実習」「病院実習」）の実験実習費については、後述を参照ください。

5 出願に際しての注意事項

(1) 出願上の注意

- ① 願書に不備があるものや出願書類に不足がある場合、受理できませんのでご注意ください。なお、出願締切り後の受付は一切行いません。
- ② 一部の漢字について、本学のシステム上印字できない場合、入学後に使用する氏名においては本学で代替文字やひらがなに修正することがありますのでご了承ください。
- ③ **出願後の科目の変更及び納入金の返還は一切行いません。**
- ④ 後期は追加申請のみ受け付けます。新規の出願は必ず前期に行ってください。
- ⑤ 本学で履修できる単位数は、**1年間に32単位以内**（複数の学部（研究科）、専攻科にわたって履修する場合も合わせて32単位以内）とします。
- ⑥ 実習科目等は履修定員の関係で履修が認められないことがあります。
実習の履修を許可された場合は、所定の実験実習費を納入してください（手続方法については、別途通知します）。
実務薬学実習（「薬局実習」「病院実習」）を含め、実験実習費が期日までに納入されない場合は、履修した科目の単位が認定されません。
- ⑦ 授業時間割と試験時間割では、曜日・時限等が異なることがありますので注意してください。
- ⑧ 実務薬学実習を履修する際には、後日以下の実験実習費が必要となります。また、実務薬学実習に参加する者は、事前に必ず抗体検査などを受診してください。（検査に係る費用については、各自負担となります）

[実務薬学実習に係る実験実習費（2023年度に履修する場合）]

病院実習：446,906円

薬局実習：302,500円

※費用については、履修する年度によって若干の変動があります。

【抗体検査及び結核感染検査の実施について】

麻疹、風疹、ムンプス、水痘およびB型肝炎の抗体検査を受けていない場合は、早期体験学習および薬局実習・病院実習（以下「実務薬学実習」という）を履修することが

できません。さらに結核感染の検査を受けていない場合も、科目等履修生の2年目以降に実務薬学実習を履修することができません。

麻疹、風疹、ムンプス、水痘およびB型肝炎については、科目等履修生として初めて入学する年度に抗体検査を受けてください。抗体検査は、大学の健康診断日（4月）に実施します（検査費用を別途徴収します）。日時等については選考結果の通知文書にてお知らせします。

なお、健康診断日に抗体検査を受けることができない場合、各自医療機関にて自費で抗体検査を受けていただくことになりますが、所定の検査法で実施しなければ結果が無効となりますので注意をしてください。後日、検査結果を医療機関から受け取り、すぐに薬学事務課に提出してください。

抗体検査の結果、実習施設が求める十分な抗体値に満たない場合には、大学からワクチンの接種に関する説明があります。ワクチンを接種した場合には1～2カ月を経過した時点で、所定の検査法で再度抗体検査を受けていただきます。後日、検査結果を医療機関から受け取り、すぐに薬学事務課に提出してください。必要なワクチンの接種とその後の抗体検査を含めて、すべて実務薬学実習の開始までに終える必要がありますので、計画的に事を進めてください。

結核感染については、実習年度の前年度の12月に自費で検査を受けていただきます。これらの感染症対策については随時通知を行いますので、在籍中は大学からのお知らせを見落とさないように注意してください。

※修士課程在学時に抗体検査を受診し、「早期体験学習」を修得済みの方については、再度抗体検査を行う必要はありません。

(2) 履修科目選定上の注意

- ① 出願可能な科目は、薬学部薬学科開講科目のうち、別紙「薬剤師国家試験資格取得に必要な科目の単位修得状況表」に記載の科目とします。

（生命創薬科学科在学時のカリキュラム適用年度に対応した科目に限ります。）

- ② 本年度中に行われる薬学共用試験の受験を希望する場合は、必ず前期出願期間中に、科目等履修生願書の所定欄に記入の上、申請してください。なお、申し出のない場合は、本年度中に実施される薬学共用試験が受験できません。

※薬学共用試験の受験については、別途受験料が必要となります。薬学共用試験の申込手続き等については、選考結果の通知文書にて連絡します。

- ③ 薬学共用試験に合格しても、薬学科4年生までの全ての必修科目を取得できなければ、次年度の実務薬学実習（「薬局実習」、「病院実習」）を履修することは出来ません。また、薬学共用試験の合格有効期間は1年間になります。
- ④ 薬剤師国家試験受験資格取得に係る科目の履修については、必ず出願前に薬学事務課までお問い合わせください。

※「薬学共用試験」を受験するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

■受験する年度の前期終了時まで、薬学科の4年生前期までの必修科目を全て修得（もしくは修得見込み）していること。

■受験する年度に「医療薬学実習」を修得見込み、もしくは、修得済みであること。

(3) 履修上の注意

① 次のア)～オ)を履修するためには、所定の履修条件を満たしている必要があります。

ア)「医療薬学実習」の履修条件

◆薬学科の4年生までの必修科目を全て修得済みまたは修得見込みであること。

イ)「特別講義1」の履修条件

◆薬学共用試験の受験年度に履修すること。

※生命創薬科学科在学時のカリキュラム適用年度が2015年度以降の方のみ、本条件を適用します。生命創薬科学科在学時のカリキュラム適用年度が2014年度以前の方は、原則として本科目を履修申告できません。

ウ)「薬局実習」・「病院実習」の履修条件

◆薬学科の4年終了時までの必修科目を全て修得していること。

◆実習を履修する前年度の「薬学共用試験」に合格すること。

◆履修の前年度に実習施設(病院・薬局)が決定していること。

※「病院実習」、「薬局実習」を履修するには、実習の前年度に、所定の手続きを行い、実習施設(病院と薬局)を決定することが必要となります。

次年度に履修を希望する場合は、担当教員にスケジュールを確認の上、関係する掲示等をよく確認してください。

エ)「ケアコロキウム」の履修条件

◆薬学科の4年終了時までの必修科目全てを修得していること。

オ)「特別講義2」の履修条件

◆「特別講義2」以外のすべての薬学科の科目を修得済みまたは修得見込みであること。

② 2023年度、以下の科目について他の科目への読み替えを行います。入学した年度の学修簿を確認しながら履修してください。

[読み替え科目]

(読み替え前)

・薬用植物学実習

→

・疾病と病態(総論)

→

・感染症・がんの治療薬

→

・調剤学1

→

・調剤学2

→

(読み替え後)

医薬資源学実習

疾病と病態総論

化学療法学

調剤学

医療安全学 及び 臨床製剤学

・薬物代謝学	→	感染症とがんの治療
・処方解析概論	→	処方解析と演習
・コミュニケーション論	→	自己理解とコミュニケーション 及び 医療コミュニケーション
・薬剤師と社会	→	薬学と社会
・最新薬剤師業務	→	ケアコロキウム

また、以下の科目を履修希望の者は事前に薬学事務課までご相談ください。

【開講科目】

- ・ヒューマニズム・薬学入門2
- ・患者情報
- ・医療の倫理
- ・薬物治療の個別化
- ・医療統計と演習

【YM在学時のカリキュラム適用年度が2014年度以前の方用】

薬剤師国家試験受験資格に必要な科目の単位修得状況表 修得済みの単位数に○をしてください。

1. 基幹基礎 必修科目 (11単位)	単位数
基礎生化学	1
早期体験学習	1
ヒューマンズム・薬学入門 1	2
薬系実験安全学	1
情報処理・演習 2	2
ヒューマンズム・薬学入門 2	2
統計学・推計学	2
2. 基幹基礎 選択必修科目 (2単位)	単位数
数学 1	2
物理学 1	2
生物学	1
情報処理・演習 1	2
薬学史	2
3. 関連専門基礎 選択必修科目 (2単位)	単位数
数学 2	2
物理学 2	2
生命科学概論	2
4. 専門基礎 必修科目 (21単位)	単位数
機能形態学実習	1
薬用植物学実習 [※]	1
薬用植物学	2
基礎化学	2
有機化学 1	2
有機化学 1 演習	1
分析化学実習 1	1
薬品物理化学 1	2
分析化学 1 (基礎分析化学)	2
有機化学 2	2
有機化学 2 演習	1
機能形態学	2
生化学 1	2

5. 必修科目 (129単位)	単位数
分析化学 2 (機器分析学)	2
生薬学	2
有機化学実習	1
生物化学実習 1	1
機能形態学 2	2
有機化学 3	2
薬品物理化学 2	2
生化学 2	2
微生物学 1	2
スペクトル解析	2
漢方概論	2
分子生物学	2
微生物学 2	2
栄養と健康	2
疾病と病態 (総論) [※] (症候と臨床検査)	2
薬理学総論	2
放射科学	2
医薬化学	2
医薬品情報学	2
免疫学	2
薬品物理化学実習	1
薬理学 1	2
薬剤学	2
生活環境と健康	2
薬物治療学 1	2
疾病と病態 1	2
天然物化学	2
薬剤学実習	1
薬理学実習	1
疾病と病態 2	2
薬物動態学	2
薬理学 2	2
製剤学	2
化学物質の生体影響	2
薬物治療学 2	2
調剤学 1 [※]	2
調剤学 2 [※]	2
ファーマコインフォマティクス	2
コミュニケーション論 [※]	2
薬物代謝学 [※]	1
処方解析概論 [※]	1
感染症・がんの治療薬 [※]	2
患者情報	1
集団の健康と疾病予防	2
薬剤師と社会 [※]	2
薬剤師と法律	2

5. 必修科目 (129単位) つづき	単位数
衛生薬学実習	1
医療の倫理	2
薬物治療の個別化	2
セルフメディケーションとOTC	1
医療薬学実習	5
医薬品の開発	1
医療統計と演習	2
病院実習	10
薬局実習	10
最新薬剤師業務 [※]	2
薬学総合研究 ^{※※}	6
特別講義 2	3
6. 選択必修科目 (1単位)	単位数
分析化学実習 2	1
生物化学実習 2	1
天然物化学実習	1
放射性医薬品学実習	1
医薬品合成化学実習	1
7. 選択科目 (13単位)	単位数
実践社会薬学	2
薬品物理化学 3	2
有機合成化学 1	2
コミュニケーション入門	2
有機合成化学 2	2
薬効物理化学	2
分子情報化学・演習 1	2
生体機能化学	2
分子細胞生物学	2
生物統計学	2
創薬化学	2
天然物薬品学	2
界面化学	2
薬学情報科学・演習	2
毒性学	2
分子情報化学・演習 2	2
DDS	1
医薬品分析学	2
特別講義 1	1
バイオインフォマティクス	2
実践EBM	1
創薬ゲノム科学	2
患者心理・カウンセリング	1
がんの診断と治療	2
薬物治療最前線	1
ゲノムインフォマティクス	2
薬学総合演習	2

【注】

※のついた科目について；
未修得科目があり、2023年度の履修を希望する場合は、5ページ「(3)履修上の注意 (4)」の科目の読み替えを参照してください。

※※「薬学総合研究」について；
以下の科目を合わせて修得したものとみなします。

卒業研究、薬学特別実験1、薬学特別実験2
または
卒業研究、薬学特別実験1A、薬学特別実験1B、
薬学特別実験2A、薬学特別実験2B

1. 基幹基礎 必修科目 (11単位)
2. 基幹基礎 選択必修科目 (2単位)
3. 関連専門基礎 選択必修科目 (2単位)
4. 専門基礎 必修科目 (21単位)
5. 必修科目 (129単位)
6. 選択必修科目 (1単位)
7. 選択科目 (13単位)

のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。

修得済み単位数をご記入ください。

【YM在学時のカリキュラム適用年度が2015年度以降の方用】

薬剤師国家試験受験資格に必要な科目の単位修得状況表 修得済みの単位数に○をしてください。

1. 基幹基礎 必修科目 (8単位)	単位数
薬学入門	2
情報リテラシー	2
早期体験学習	1
薬学史	1
統計学・推計学	2
2. 基幹基礎 選択必修科目 (2単位)	単位数
情報基礎	1
数学1	2
物理学1	2
3. 関連専門基礎 選択必修科目 (2単位)	単位数
数学2	2
物理学2	2
4. 専門基礎 必修科目 (23単位)	単位数
基礎化学	2
機能形態学1	2
生命科学	2
薬用植物学	2
有機化学1及び演習	3
機能形態学2	2
生化学	2
分析化学1	2
薬品物理化学1	2
有機化学2及び演習	3
基礎薬学実習	1

5. 必修科目 (131単位)	単位数
分析化学実習	1
実践社会薬学	1
疾病と病態総論	2
生薬学	2
微生物学1	2
分子生物学	2
分析化学2	2
薬品物理化学2	2
薬理学総論	2
有機化学3及び演習	2
有機化学実習	1
医薬資源学実習	1
栄養と健康	2
漢方概論	2
疾病と病態1	2
スペクトル解析	2
生物化学実習	1
生物有機化学	2
微生物学2	2
免疫学	2
薬品物理化学3	2
薬理学1	2
医薬化学	2
医薬品情報学	2
化学療法学	2
疾病と病態2	2
生活環境と健康	2
生物統計学	1
天然物化学	2
分析化学3	1
放射科学	2
薬剤学	2
薬品物理化学実習	1
薬物治療学1	2
薬理学2	2
医薬品情報学演習	1
医薬品の開発	1
医療の倫理	1
化学物質の生体影響	2
自己理解とコミュニケーション	1
製剤学	2
薬剤学実習	1
薬剤師と法律	2
薬物治療学2	2
薬物動態学	2
薬理学実習	1
医薬品化学	1

5. 必修科目 (131単位) つづき	単位数
医療安全学	1
医療コミュニケーション	1
衛生薬学実習	1
感染症とがんの治療	1
集団の健康と疾病予防	2
処方解析と演習	1
調剤学	2
薬学と社会	2
薬物治療の個別化	1
臨床製剤学	1
医療薬学実習	5
セルフェディケーションとOTC	1
特別講義1	1
臨床統計とデザイン	1
薬学科卒業研究A※	2
ケアコロキウム	2
病院実習	10
薬局実習	10
薬学科卒業研究B※	2
特別講義2	3
薬学科卒業研究C※	2
6. 選択科目 (10単位)	単位数
界面化学	2
ケモインフォマティクス	2
バイオインフォマティクス	2
分子細胞生物学	2
分子腫瘍科学	2
有機合成化学	2
医薬品合成化学実習	1
ゲノム創薬科学	2
裁判化学	2
創薬インフォマティクス	2
創薬化学	2
天然物薬品学	2
放射性医薬品学実習	1
薬効物理化学	2
アカデミック・ディテリング基礎演習 (アカデミック・ディテリングPBL)	1
医療経済学	2
基礎薬学から学ぶ症例検討演習 (患者心理とカウンセリング)	1
実践薬物治療演習 (アドバンスト薬物治療)	1
コーチングスキル	1
実践院内製剤の開発	1
実践EBM (臨床推論とEBM)	1

【注】

※「薬学科卒業研究A, B, C」について;
以下の科目を合わせて修得したものとみなします。

卒業研究、薬学特別実験1、薬学特別実験2
または
卒業研究、薬学特別実験1A、薬学特別実験1B、
薬学特別実験2A、薬学特別実験2B

1. 基幹基礎 必修科目 (8単位)
2. 基幹基礎 選択必修科目 (2単位)
3. 関連専門基礎 選択必修科目 (2単位)
4. 専門基礎 必修科目 (23単位)
5. 必修科目 (131単位)
6. 選択科目 (10単位)

のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。
のうち 単位修得済です。

修得済み単位数をご記入ください。

2023年度

科目等履修生願書

整理番号 _____

東京理科大学長 殿

氏名	理大 太郎
生命創薬科学科への 入学年度	[2016年度]
カリキュラム適用年度 (入学年度と異なる場合)	[年度]

講義・演習科目	学 科	学 期	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教 員 名	単 位 数
	薬学科	前期	水	2	〇〇〇〇	〇〇〇〇	4
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	小 計				1 科目	4 単位	

実験実習科目	学 科	学 期	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教 員 名	単 位 数
	薬学科	後期	集中		〇〇実習	〇〇〇〇	1
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
小 計					1 科目	1 単位	

※「講義・演習科目」「実験実習科目」とも、自身のカリキュラム適用年度に対応した名称を記載すること。

履 修 科 目 ・ 単 位 合 計	2 科目	5 単位
-------------------	------	------

上記のとおり履修を志望いたしますので許可願います。

薬学共用試験受験申請

今年度の薬学共用試験を受験する者は、以下に自筆の署名を
してください。

私は、今年度の薬学共用試験を受験いたします。

受験者名 : _____

新規出願・継続出願の別

新規	・	継続(同一学部において年度を継続して出願する場合)
----	---	---------------------------

記入しないでください	履修料	円
	計	円

[記入例]

本人履歴	ふりがな	りだい たろう	性別	写真貼付欄 縦4×横3cm
	氏名	理 大 太 郎	♂・女	
	ローマ字氏名	Taro Ridai		
	生年月日	1998年11月 9日生（24歳）		
	本籍地	東京 都道府県		
	ふりがな	とうきょうと しんじゅくく かぐらざか 1ちょうめ3ばんち		
	現住所 [連絡先]	〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1丁目3番地 電話 〇〇（ 〇〇〇〇 ） 〇〇〇〇 勤務先電話 〇〇（ 〇〇〇〇 ） 〇〇〇〇 メールアドレス:〇〇〇〇〇@〇〇〇. 〇〇〇. 〇〇〇		
	最終学歴	2021年 3月東京理科大学 薬学部生命創薬科学科 卒業 2023年 3月東京理科大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻 修了見込 年 月		
	聴講・科目等履修生歴 [以前に聴講・履修したことがあれば記入]	年 月 日～ 年 月 日 大学 学部聴講 年 月 日～ 年 月 日 大学 部科目等履修生 年 月 日～ 年 月 日 大学 部科目等履修生 年 月 日～ 年 月 日 大学 部科目等履修生		
	職業 該当するものに○印、()内に具体的に記入	A. 教育関係(学校名等:) D. 個人営業() G. その他() B. 公務員関係() E. 学生 C. 企業関係(企業名等:) F. 無職		

誓約書	2023年 3月 ○日	
	東京理科大学長 殿	
	ふりがな	りだい たろう
	氏名	(自筆署名) 理 大 太 郎
	1998年11月 9日生	
	私は、東京理科大学科目等履修生として履修を許可されました際は、建学の精神に従い学則ならびに諸規程を遵守し、科目等履修生としての責務をつくすことを誓約いたします。	

保証書	2023年 3月 ○日		
	東京理科大学長 殿		
	保証人の 現住所	〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1丁目3番地 電話 続柄 父	
		保証人	ふりがな りだい いちろう 氏名 (自筆署名) 理 大 一 郎 1964年 3月29日生
			私は、下記の者が貴学科目等履修生として履修を許可されました際は、貴学在学中、左記の誓約を遵守させ、これに反する在学中の行為について、保証人である私が責任を負うと共に、下記の者が貴学に対して負う一切の債務について、学則に定められた履修料に該当履修科目の単位数を乗じた額に相当する額を上限として、下記の者と連帯して支払うことを保証いたします。
	本人 氏名		理 大 太 郎

(注1) 保証人は、原則として父母のいずれかとしますが、これに代わる場合は、在学中の債務を負える成年者で、独立の生計を営む者としてします。
(注2) 学則別表第6(第51条関係)抜粋
履修料 1単位 26,000円

科目等履修生願書

整理番号

東京理科大学長 殿

氏名	
生命創薬科学科への 入学年度	[年度]
カリキュラム適用年度 (入学年度と異なる場合)	[年度]

講義・演習科目	学 科	学 期	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教 員 名	単 位 数
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
小 計					科目	単位	

実験実習科目	学 科	学 期	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教 員 名	単 位 数
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
	薬学科						
小 計					科目	単位	

※「講義・演習科目」「実験実習科目」とも、自身のカリキュラム適用年度に対応した名称を記載すること。

履 修 科 目 ・ 単 位 合 計	科目	単位
-------------------	----	----

上記のとおり履修を志望いたしますので許可願います。

薬学共用試験受験申請

今年度の薬学共用試験を受験する者は、以下に自筆の署名を
してください。

私は、今年度の薬学共用試験を受験いたします。

受験者名：

新規出願・継続出願の別

新規	・	継続(同一学部において年度を継続して出願する場合)
----	---	---------------------------

記入 しないで ください	履修料	円
	計	円

本人履歴	ふりがな		性別	写真貼付欄 縦4×横3cm	
	氏名		男・女		
	ローマ字氏名				
	生年月日	年 月 日生 (歳)			
	本籍地	都道府県			
	ふりがな				
	現住所 [連絡先]	〒			
		電話 ()		勤務先電話 ()	
		メールアドレス:			
	最終学歴 (大学院もしくは専攻科進学者は大学から記入)	年			
		年 月			
		年 月			
	聴講・科目等履修生歴 (以前に聴講・履修したことがあれば記入)	年 月 日～ 年 月 日		大学	学部聴講
		年 月 日～ 年 月 日		大学	部科目等履修生
		年 月 日～ 年 月 日		大学	部科目等履修生
年 月 日～ 年 月 日		大学	部科目等履修生		
(職業該当するものに○印、()内に具体的に記入)	A. 教育関係(学校名等:) D. 個人営業() G. その他()				
	B. 公務員関係() E. 学生				
	C. 企業関係(企業名等:) F. 無職				

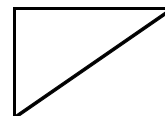
誓約書	年 月 日	
	東京理科大学長 殿	
	ふりがな	
	氏名	(自筆署名)
	年 月 日生	
	私は、東京理科大学科目等履修生として履修を許可されました際は、建学の精神に従い学則ならびに諸規程を遵守し、科目等履修生としての責務をつくすことを誓約いたします。	

保証書	年 月 日		
	東京理科大学長 殿		
	保証人の現住所	現住所 〒	
		電話	
		続柄	
	保証人	ふりがな	
		氏名	
		(自筆署名)	
		年 月 日生	
		私は、下記の者が貴学科目等履修生として履修を許可されました際は、貴学在学中、左記の誓約を遵守させ、これに反する在学中の行為について、保証人である私が責任を負うと共に、下記の者が貴学に対して負う一切の債務について、学則に定められた履修料に該当履修科目の単位数を乗じた額に相当する額を上限として、下記の者と連帯して支払うことを保証いたします。	
本人氏名			

(注1) 保証人は、原則として父母のいずれかとしますが、これに代わる場合は、在学中の債務を負える成年者で、独立の生計を営む者とします。

(注2) 学則別表第6(第51条関係)抜粋
履修料 1単位 26,000円

追 加 ・ 複 数 学 部 申 請 書



既に本学の科目等履修生で、後期科目を追加申請する場合、
または、2学部以上にわたって科目を履修する場合には、
この申請書を1学部につき、1枚ずつ記入すること。

* 裏面の記入例を参考にして、記入してください。

履修希望学部	薬学部
--------	-----

整理番号	記入しないでください
学籍番号	
ふりがな	りだい たろう
氏 名	理 大 太 郎

①講義・演習科目	学 部 研究科 専攻科	学 科 専 攻	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教員名	単 位 数	事務処理欄 講義番号
	薬学部	薬学科	月	1	〇〇〇〇	△△△	2	
	薬学部	薬学科	月	2	〇〇〇〇	△△△	2	
	小 計				2 科目	4 単位	—	

②実験・実習科目	学 部 研究科 専攻科	学 科 専 攻	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教員名	単 位 数	事務処理欄 講義番号
	小 計				科目	単位	—	

* 実験・実習を許可された場合は、実験・実習申込の際、別に所定の実験・実習費を納入してください。

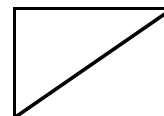
申請科目・単位合計欄には、出願学部すべての合計ではなく、1学部部分のみを記入してください。

③申請科目・単位合計(①+②)	2 科目	4 単位
-----------------	------	------

* 事務処理欄（記入しないでください。）

単位数計	単位	履修料計	円
------	----	------	---

追 加 ・ 複 数 学 部 申 請 書



既に本学の科目等履修生で、後期科目を追加申請する場合、
または、2学部以上にわたって科目を履修する場合には、
この申請書を1学部につき、1枚ずつ記入すること。

* 裏面の記入例を参考にして、記入してください。

履修希望学部	薬学部
--------	-----

整理番号
学籍番号
ふりがな
氏 名

①講義・演習科目	学 部 研究科 専攻科	学 科 専 攻	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教員名	単 位 数	事務処理欄 講義番号
	小 計				科目		単位	—

②実験・実習科目	学 部 研究科 専攻科	学 科 専 攻	曜 日	時 限	授 業 科 目 名	教員名	単 位 数	事務処理欄 講義番号
	小 計				科目		単位	—

* 実験・実習を許可された場合は、実験・実習申込の際、別に所定の実験・実習費を納入してください。

申請科目・単位合計欄には、出願学部すべての合計ではなく、1学部部分のみを記入してください。

③申請科目・単位合計(①+②)	科目	単位
-----------------	----	----

* 事務処理欄（記入しないでください。）

単位数計	単位	履修料計	円
------	----	------	---

2023 年度 科目等履修生審査料 納入書類等貼付台紙

氏 名 _____

審査料納入後、枠内に「振込明細書等の原本（振込先の口座名・振込金額が明記されたもの）」を貼付すること。

審査料	35,000 円
審査料の納入先	銀行名：みずほ銀行 支店名：飯田橋支店 預金種目：普通預金 口座番号：1000200 口座名義：東京理科大学（トウキョウリカダイガク）

※振込明細書等は、折り曲げや横向きに貼付してもよい。